

# 主流

## 第十七号

トマス・ハーデーの作品に於ける 偶然性の取扱い方……………	望月満子	(1)
「桶物語」の背景と意味 ↓ スイフトの世界へのアプローチ……………	高山修	(11)
W・S・モームの文学観……………	一瀬昌夫	(43)
ブランドン随想……………	高階陽一	(58)
現代英米劇新作紹介 アーサー・ミラア『坩堝』アーサー・ロウレンツ『郭公の鳴く 頃』(荒木啓) ニュージン・オニール『敗残の日』(近田小一) ウイリアム・サロイヤン『無辜の殺戮』(宇喜田敬介) テレンス・ ラティガン『ウインズロー・ボーイ』(田中弥一郎)……………		(65)
グレアム・グリーンの小説に ついて(二)……………	宮井敏	(79)